

2011 年

8 月 29 日(月曜日) 大きな可能性をひらく - 「シルクのまちづくり市区町村協議会」の総会 -

本日、全国の 25 にのぼる市区町村の会員と業界関係者が連携してつくる「シルクのまちづくり市区町村協議会」の総会が、多数の市区町村の皆さん、関係省庁のご担当者の皆さんが出席され、盛会に開催されました。

今日は福島の被災地・川俣町から古川町長もお越しいただいておりますが、東日本大震災から半年近く経過した今もなお、多くの被災者の皆さんが想像を絶する困難に直面しておられ、心からお見舞いを申し上げますとともに、一々も早い復旧復興を心から念じ願っています。

他方で、この大震災は、被災地はもとより、我が国全体に電力はじめ様々な影響を大きく与えており、直近の円高等の国際情勢もそれに加わり、現在、我が国として、経済や社会の大きく、多くの国家的課題に直面しています。

そんな厳しい状況の中で、地域がどのように活性化を図っていくのか、それぞれの地域の頑張りとともに、私は、同じテーマ、同じ課題をもつ地域同士が共通の土俵の中で力を寄せ合い力を合わせていくことが大事であると思います。

絹、シルクの分野では、広く業界の川上から川下まで様々な産業や活動が営まれ展開されていますが、個別分野により違いはありますが総じては厳しい現状にあることから、ますますもって各関係地域、関係者それぞれの力の寄せ合い、結集が必要であるわけですし、同時に、シルクのもつ魅力の豊かさ、健康、医療、宇宙などの分野での現代的な可能性、潜在力の多様さ、広大さを想うとき、様々な連携により、新しい地平や大きな発展的局面が開いていく、そんな可能性や意義がとても大きいと思っています。

この協議会が設立されて 1 年半が経過する中で、ホームページやメーリングリストの開設、情報誌の発行などいろんな取組みを進めてきましたが、本会のご縁を活用されて民間同士のビジネスマッチングのケースも次第に出てきており、とても喜ばしく思っています。今後とも、これまでの取組みに加え、会員、関係者の皆さんのお声を聞かせていただき、ブログコーナー開設、政策提言の実施、スタンプラリーなどをはじめ様々な活動を積極的に展開したいと思いますし、絹、シルクの大きな可能性を着実にひらいていくため、息の永い、実のある取組みを進めていきたい。